

COVID-19患者に対するリハビリテーション

当院は西日本で唯一の特定感染症指定医療機関であり、COVID-19患者を受け入れています。当科はCOVID-19患者に対してもリハビリテーションを実施しています。



りんくう総合医療センター

国立国際医療研究センター病院

常滑市民病院

成田赤十字病院

特定感染症指定医療機関

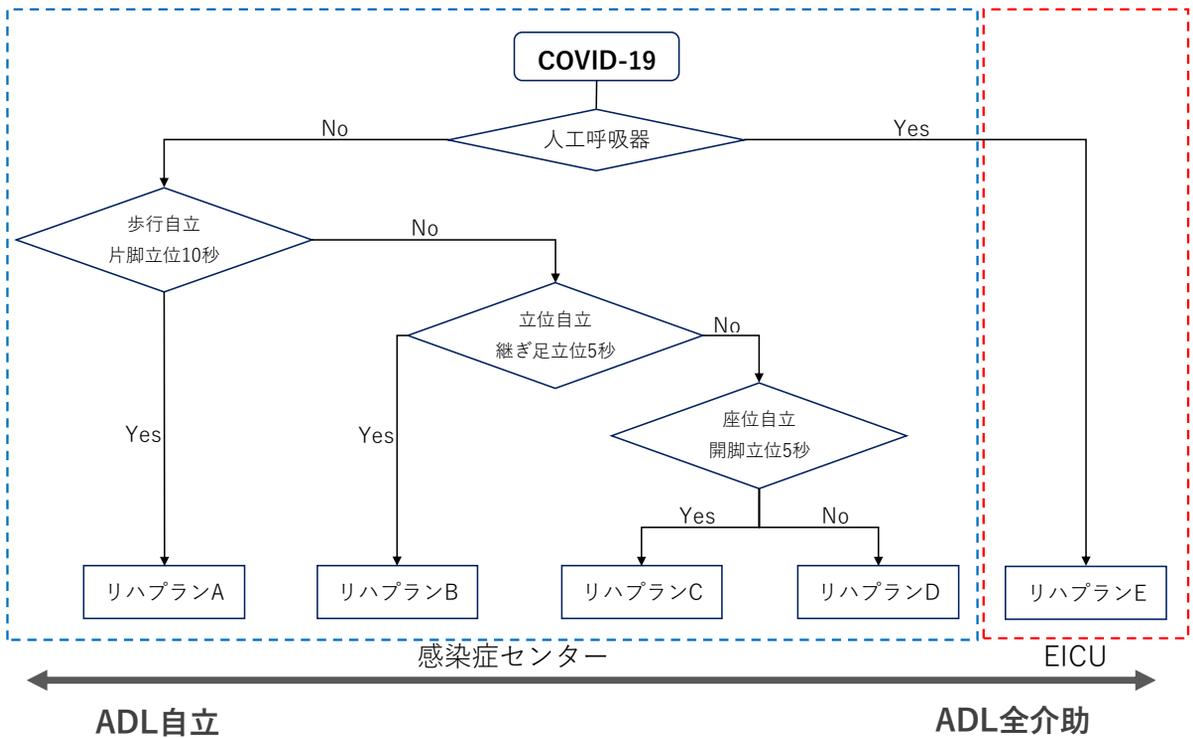
安全対策

- 中堅以上のキャリアを有するセラピストを配置
- 初回介入前には、感染対策の認定看護師による個人用防護具（PPE）の着脱方法やゾーニングとその動線について直接指導
- リハビリテーション実施後、シャワーを浴びて可及的すみやかに帰宅
- 全セラピストは毎日2回の検温



リハビリテーション介入方法

- COVID-19患者のリハビリテーションを円滑に行うために介入フローチャートを作成した。
- 患者の動作レベルに応じてリハプランを選定し、直接介入と間接介入をトリアージする。
- 日常生活動作が自立している患者は、運動指導のパンフレットを配布する。



リハビリプランA
 リハビリプランB~D
 リハビリプランE

間接介入（主に、自主練習・パンフレット配布）
 直接介入（歩行練習・筋力増強練習・呼吸理学療法など）
 人工呼吸器あり 呼吸器リハを実施

リハビリテーション介入フローチャート

直接介入



呼吸理学療法



基本動作練習



関節可動域練習

多言語対応型パンフレットの作成

- 日本語、ロシア語、インドネシア語、タガログ語、中国語、英語の6ヶ国語に対応させた『自主練習プログラム』を作成した。
- 内容の説明は、必要に応じて国際診療科と共同で実施した。